

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学童クラブ施設整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	02	06	03
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	教育総務課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	主管課長	長橋 祐之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	学童保育対象児童の保護者	意図	安心して児童を預けられるようにする。
事業内容	学童クラブを整備し、学童保育が必要な状況の児童の受け入れ施設を整備。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和51年度に江戸川台に「子どもルーム」を設置して以来、平成20年度までに市内15小学校区すべてに学童クラブが整備された。その後、建物の老朽化による建替え、入所児童の増加による拡張を行い、平成27年度には、鯉ヶ崎小学校区に新たに学童クラブを創設した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	学童クラブ施設数			24	
②	延利用人数	10,264	12,355	14,097	人	↑↑↑	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	鯉ヶ崎小学校区に「ひまわり第2学童クラブ」（定員40名）を整備した。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市内15小学区の全てに学童クラブが設置されている。 学童クラブの利用者の増加に伴い、既存施設が狭隘化していることから、施設の拡張が求められている。		
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		133,942,495	64,748,855	72,184,463			
事業費(b)(円)		128,352,895	59,220,855	66,913,463			
うち一般財源		99,680,895	28,228,855	50,629,463			
職員給与費(c)(円)		5,589,600	5,528,000	5,271,000			
人役・職員(人)		0.80	0.80	0.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	児童数の増加を視野に入れ計画的に施設整備を進めていきたい。	③取組の課題	入所希望児童数が増加し、新たな施設を整備しなければならない施設が発生しているため、学童整備が必要となる。
②今年度(H27)に実施した取組	鯉ヶ崎小学校区に新たな学童クラブを創設し、定員増を図ると共に、学校の長期休みには放課後の余裕教室を活用し、児童の受け入れ体制を図った。	④今後の改善計画	児童数の増加を視野に入れ計画的に施設整備を進めると共に、学校の余裕教室等を積極的に活用する。